

福井はひっでー 大雪やぜー！！JR・えち鉄・福鉄ストッフ



● 写真提供／清水・鳥居・畑

【関連記事／6ページ】

☆☆活動報告☆☆

- 1月20日～25日 NPO パネル展
- 2月10日 福井市地域生活交通活性化会議
- 2月13日 第84回臨時理事会
- 2月14日 環境省地域連携事業ワークショップ

☆☆今後の予定☆☆

- 2月27日（日）電車で勝山左義長体験
- 3月12日（土）第85回臨時理事会
- 3月18日（金）例会・第86回定例理事会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

「大東京の地下99の謎」 秋庭 俊

二見書房 600円＋税

都市伝説という言葉がよく使われる。東京のどこそこには戦時中に掘られていた秘密の地下空間があるといった類だ。この本は、地下空間に関するそうした都市伝説のうち、本当の話を集めたことになっている。

そのわりには、秘密なので教えてもらえなかったで終わっていたり、何が真実で何が噂なのか読んだ後で全く頭に残っていない。飲み会の雑談のネタに読むならいいが、真剣に都市計画論で人を説得する時にこの本を根拠にすることはやめたほうがいい。実際、私が地下空間を見学に行って、その工事の過程を学んだ箇所で「戦前から掘ってあったのではないか」と書いてある箇所もある。

東京会員 美濃部 雄人 Minobe Yujin

平成22年度 第3回福井市地域生活交通活性化会議

日時：平成23年2月10日 10:00~11:30

場所：福井市役所 8F 会議室

委員：座長 川本義海福井大学大学院准教授

自治会連合会、連合婦人会、老人クラブ連合会、市PTA連合会、ROBA、福鉄自動車部、京福バス
まちづくり福井、光タクシー、えちぜん鉄道、県バス協会、県交通運輸産業労組、福井運輸支局
県・交通まちづくり課、県警・交通規制課、福井市・交通政策室

目的：平成18年10月度道路運送法改正により、地域の関係者が地域交通を検討する「地域交通会議」のしくみが導入されて。それに従い多様なニーズに的確に対応した運送サービスを提供し、活力ある地域社会を実現すること。（主にバス交通に関する協議の場）

議事：○報告事項

■海岸地域バス・海岸広域ルートにおける停留所の新設等について

1、新設停留所の名称及び所在地

○鷹巣公民館前 所在地：福井市菟町14字8番地先

○銚島 所在地：福井市南菅生町28字29番4地先

※既設の「鷹巣公民館」バス停は「和布堂ノ上」に名称変更

※京福バス・鮎川線においても同様に停留所の新設・名称を変更する

2、鷹巣公民館前停留所・施設概要

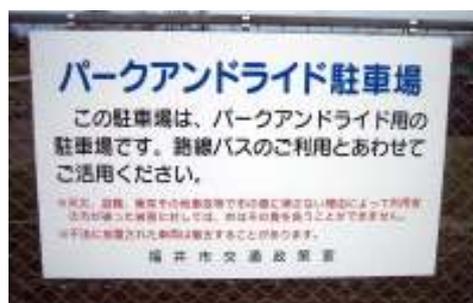
○バス停上屋：1基

○駐輪場上屋：1基（8台収用、無料）

○OP&BR 駐車場：10台分（無料）

○観光案内板：1基

3、新設日：平成23年1月24日



○議案①

清水地域バスの今後の取り扱いについて

現在 6 路線で平成 21 年 7 月 1 日より試行運行中（平成 23 年 3 月 31 日まで）

- ・ 清水畑平尾線
- ・ 笹谷志津が丘線
- ・ 朝宮杉谷線
- ・ 清水 G H 線
- ・ 片山坪谷線
- ・ 在田風巻線

その結果、利用目標を上回ったのは清水畑平尾線と笹谷志津が丘線の 2 路線のみ

今後、4 月以降 2 路線については本格運行とする。なお、本格運行以外の 4 路線については試行運行した方式でなく新たな方式の検討を考える。

（4 月以降の本格運行の詳細）

【路線・系統】	清水畑平尾線	片道 11.2 km	路線定期運行
	笹谷志津が丘線	片道 13.8 km	路線定期運行
【運行日】	2 日/週	水曜日、土曜日	※地域と協議して決定
【運行回数】	各 3 回/日		
【運行車両】	マイクロバス、定員 25 名		
【運賃】	片道運賃 100 円	回数券：券種 100 円、枚数 11 枚、	運賃額 1,000 円

委員からの意見

- ・ 海岸地域バスと路線バスの自由な乗継可能な共通切符の検討をしてはどうか
- ・ 他の観光部署と連携して、バスの利用と越前海岸を観光に結び付けなければならない
- ・ 地域バスと路線バスの連携を強化しなければならない
- ・ 6 路線のうち 4 路線は本格運行とならなかったが、10~12 月の実績だけで評価していいものなのか疑問だ
- ・ 地域には必要としている人がいる。乗る人がいないから止めるというのは問題がある
- ・ 空白地域を残すことはよくない。今後の対応が大切であり、継続した取り組みが必要だ。
デマンド方式や乗継の割引を取り入れるなどの検討をしてほしい（ROBA・内田）
- ・ 今冬の雪による交通障害では、京福バスとして運行情報をマスコミに流したが、福井 TV 以外は放送していただけなかった。今後も会社として努力するが、マスコミの協力が欲しい。
- ・ 雪による交通の影響はホームページでもいち早く提供してほしい
- ・ ワンストップ型の総合インフォメーション機能があるとよい。
⇒川本委員長からモビリティセンターの機能について簡単な説明

さて、原稿依頼を受け、何を書こうかと悩みましたが、平成 20 年度で福井市が主催した街づくりゼミナール（故坂川市長が立ち上げた「市民 100 人委員会」の東村市長バージョン）に参加したときのことを報告します。

故坂川市長のときの市民 100 人委員会のときは、ROBAメンバーもかなり多く参加し、特に公共交通の部会では、3 人ものROBAメンバーがいたので、LRTだの、駅前延伸などの話題が飛び交い、さながらROBAの会合かと思うほどでした。

しかし、2 年目は様相も変り、たしか7部会くらいだったと思いますが、その中で「公共交通」のことを活かせる部会として『健康長寿を实践・実感しよう部会』を選択。メンバーは劇団「ババーズ」を主宰する林さんをはじめ、まさに高齢者の部会。平均年齢が 70 歳代です。ちなみに最高齢者は 82 歳の方です。

長い人生経験をしておられますので、自分の言いたいことをぼんぼん話します。なかなかまとまりません。そのなかで、公共交通の必要性をどうアピールするか熟慮した結果、楽しくして、かつ、会の主旨に合うことをする、更に公共交通の必要性を訴えることにアタマを使いました。そのせいか髪の毛が少なくなったような気がします。

そこで、会の特色と公共交通への道筋を無理なくつけるために、以下のように11回の会合をやり、形をつけました。

報告 健康長寿を实践・実感しよう部会

部会長	林 幸男
副部会長	澤田 禮子
庶務	杉井 弘見
監査	前田 行雄
会計	山口 悦子
	稲津 泰
	細田 正人
	近藤 洵
	高橋 八州太郎



第1回 健康長寿を实践・実感しよう部会報告 A4SSAにて

劇団「ジジーズ」の1年の歩み……

平成20年度まちづくりゼミナール 健康長寿を实践・実感しよう部会 1

今年度の活動実績

- 第0回 6月23日 まちづくりゼミナール発足式
- 第1回 7月17日 稲津さん、澤田さんの発表
- 第2回 7月31日 近藤さん、高橋さんの発表
- 第3回 8月 6日 杉井さん、前田さんの発表
- 第4回 8月20日 山口さん、細田さんの発表
- 第5回 9月25日 林さんの発表
- 第6回 10月23日 豊田三郎画伯との交流
- 第7回 12月 9日 三国湊座との交流
- 第8回 1月 8日 発表原稿の確認
- 第9回 1月22日 すまいるバスで歴史探訪
- 第10回 1月22日 あじさいトーク(東村市長と対談)
- 第11回 2月 5日 発表原稿の確認等

平成20年度まちづくりゼミナール 健康長寿を实践・実感しよう部会 8

その筋書きを7つにまとめ、皆の理解を得て、三国湊プロジェクトのメンバーとの交流、市内の文化施設の見学について、公共交通を利用してもらうような企画を立てました。皆、納得でした。

健康長寿を実感実践**しよう会の7つの特色**

- 名の通り平均年齢約70歳と、でも**幸**齢
- 行動力は抜群、市内はもとより市外へ**飛び出す**
- 出席率が**高い** 会議は夜、活動は昼間
- 内容も濃い 歴史、社会、交流を**学ぶ**
- 連絡方法は(電話、ハガキ)、でも**確実に**連携
- 知らなかったことを知ることの喜びを**実感**
- 機会がなく、やれなかったことを**実践**

活動報告の前に

健康長寿のまとめ(90歳の方24名のヒアリング結果)

- ①運動習慣がある
- ②睡眠良好
- ③バランスの良い食事
- ④腹**七**分目
- ⑤飲酒、喫煙の習慣がない
- ⑥趣味、楽しみがある
- ⑦楽天的、クヨクヨしない
- ⑧友人がいる

H19年度
市民100人
委員会報告の
発表より

そんなこんなで、皆さんを気持ちよく、公共交通での移動体験をして、かつ、普段体験できないことを実感できたのではないかと考えております。

部会長の主宰する「ババーズ」は医者要らずですが、「ジーズ」は「クルマ要らず」で健康・長寿を
実践・実感できた(環境にやさしい公共交通を利用)



自分の足で移動、えちぜん鉄道を利用して三国湊座との交流の実践、すまいるバスを乗りこなして福井の歴史を実感することができた。



えちぜん鉄道



すまいるバス

平成20年度まちづくりゼミナール 健康長寿を実感・実践しよう部会 12

今回のこの企画では、元気だから移動する、そのためにはクルマもいいが、電車で行くことで仲間とのコミュニケーションを深める、また、普段体験できないことを、この機会に体験できた喜び、これがまた元気のもとになっていく。このことを「まちづくり福井」の方に話したら、スマイルバスでの美術館めぐりを企画しようかなと言っていました。その後はわかりませんが。これって、総合学習でも使えるかも知れませんね

すまいるバスで健康長寿を実感！！



見学した施設

- 西ルート
- ・橋曙覧記念文学館
- 北ルート
- 県立歴史博物館
- 南ルート
- 北の庄城址資料館

- ・4つのルートのうち3つを1日300円で乗った。
- ・乗ったことがなかったが、今回初めて経験。

平成20年度まちづくりゼミナール 健康長寿を実感・実践しよう部会 15

スマイルバスの運行間隔が30分あることが良かった。ゆっくりと移動したとして20分、滞在時間を1時間みれば40分見学できるということで時間がよめるのはありがたいです。また、Mrドーナツのところで全ての系統に乗り換えられるというターミナル機能があることもこの企画ができた要因であると考えています。

今回は、昔の話となりましたが、(公共交通に縁の薄い)皆さんに公共交通が、こんなに便利だねと思ってもらうためには、環境にやさしいとか、社会資本を大切にとかいったような大上段に構えて話しても、なかなか理解をしてくれないことが改めてわかりました。

このような形で公共交通の体験をさせることができほっとしています。イベント的になってしまいましたが、皆さんに公共交通への理解と、公共交通乗車体験を積み重ねることが如何に重要かを学ばせてもらいました。

あとは、この委員会が解散になってからどの位、公共交通を利用する気になってもらえたかが気になります。

ホジロバ交通大雪奮闘記

報告：林 博

25年ぶりの大雪で、さすがの雪国の福井人も、生活交通で大変苦労しました。歩行者、電車を主とした、大雪との奮闘記を報告します。

いつもに増して冷遇される歩行者

一晩に4,50cmも積ると、さすがに道路の除雪が幹線道路だけになり、細街路までは間に合わないようで、家を出るのに手間取っている車を尻目に、長靴を履いて出勤です。通学路は下まですれ違えるような幅に機械をあけてありますが、そこから外れると人一人の幅しかなく、すれ違うには横を踏み固めて待避場所を作るしかないのですが、新雪の時は、親切があだになり、「ご(が)ぼって」長靴の中まで雪まみれ。さらに数日たつと、踏み分け道の真ん中が高くなり、ごぼった跡が無数に。ここまできると、後期高齢者のかたは、もうこの道を歩くのは無理で、迷った末、車道を歩いていました。



通学路はきれいに空けられている



福井市の歩道除雪車



踏み分け道はごぼった穴だらけ



自転車は動けず氷柱も



車はすっぽりと雪の中



こんな雪のオブジェも発見

除雪に手間取ったが渋滞の車を横目にいつものようにすいすい電車(ともいかなかったようで)

路面軌道区間は、県道路管理者との申し合わせなどにより、協力しながら除雪されているようで、昔みたいに道路除雪をした雪で電車が止まったなどということはなくなったようです。でも、鉄道区間の踏切はそこまですまくいっていないようで、道路と軌道との間の雪が圧雪となって凍ったり、軌道横断部分の歩行者空間が確保されていなかったり、まだまだ課題は多そうです。



雪の中を快調に走る電車



踏切部はパワーシャベルで



歩行者の通行は考慮外だ

JR森田駅にギャラリー開設！！ 2010. 11月



森田地区文化委員会では、3年前より地元で愛される、愛着のある森田駅づくりを目指してワークショップ、森田駅夏・冬物語などを開催してきました。

その間、福井市にギャラリー開設をお願いしてきましたが、ようやく「もりた夢駅冬物語」(2010年11月14日)でオープンセレモニーを行なうことができました。

現在は、地元の方が描かれた絵画展示が行なわれており、森田地区民の心のオアシスとしてにぎわってほしいものです。お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。 報告／林照



「もりた夢駅冬物語」(2010年11月14日)





作／漆寄 耕次

「意識」から「行動」へ
～大雪の効用をみる～

先日、第1回いしかわエコスタイル県民フォーラムに参加してきました。今回の内容は、“私達が地球温暖化防止のために、日々の生活のなかで出来ること”を考えるとというものでした。

パネルディスカッションのなかで、印象に残った言葉があります。私達は、車の代わりに自転車や公共交通を使うといった『環境に優しい行動』についての意識は持っているが、それを行動に繋げるところまで至っていないという言葉です。現在の地球環境を考えると、二酸化炭素排出量を削減しなければなりません。そのための1つの方法として、自動車の利用頻度を減らして、自転車や公共交通へシフトするという意識は高まっていると思います。しかし、そこから行動に繋げるには大きな壁があります。

私自身、休日は公共交通や徒歩で移動することが多いのですが、平日は仕事の関係上最終便に乗ることができないので車通勤をしています。しかし、先日の大雪の際、仕事の調整をして2日間だけバス通勤にチャレンジしました。

バス通勤をして一番興味を持ったことは、公共交通で通勤されている方々の金沢駅でのバス待ち時間の過ごし方です。金沢駅内の飲食店には友人や仕事関係の方が楽しそうに食事をとる姿が見られます。また、金沢駅の隣のショッピングセンターでは、ショッピングを楽しむ人の姿や、カフェでコーヒーを飲みながら読書する人の姿が見られます。普段、車通勤をしている私にとって、なんて豊かな生活なのだろうと感じました。こういう体験は、車以外の交通手段を選ぶきっかけになります。今回の大雪によって、高速道路の通行止めや電車の運休等、私達の生活に大きな影響が出ました。しかし、これをきっかけに、公共交通での移動に魅力を感じてくれた人がいれば、大雪の良い面を少しみることができないのではないかと思います。(大西友世)

編集後記・・・編集委員より一言

林(変集長)

「お待たせいたしました。(誰も待ってない?) 今週号から変集長に復帰します。」

内田(発行責任者)

「雪はいいね! いやなもの、汚いものもすべて純白にしてくれる。」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>